

## おくすりQ&A

### 新しい作用機序の糖尿病薬はどんな薬ですか？

#### Q. 新しい作用機序の糖尿病薬はどんな薬ですか？

A. 最近日本で使えるようになった糖尿病薬は「SGLT2阻害薬」という分類の薬です。SGLT2とは、「sodium glucose cotransporter (sodium glucose transporter) 2」の略で、「ナトリウム・グルコース共役輸送体」と呼ばれるタンパク質の一種です。SGLT2は、腎臓の近位尿細管に存在していて、グルコース（ブドウ糖）とナトリウムを体内に取り込む役割を担っています。腎臓で作られる尿には最初グルコースが含まれていますが、SGLT2の働きによって尿中グルコースのほとんどが再吸収され、尿糖が排泄されなくなっています。「SGLT2阻害薬」はその名のとおりに、SGLT2の働きを阻害する薬です。SGLT2の働きを阻害すると、近位尿細管でのグルコース再吸収が減り、その分だけ尿糖の排泄が増えます。つまり腎臓に作用して、余分な糖を尿と一緒に排泄させることで血糖値を下げる効果があります。

#### Q. SGLT2阻害薬の特徴は何ですか？

A. 余分な糖を尿に排出させるので、血糖を下げるためにインスリンが必要ないという特徴を持っています。今までの糖尿病薬には、膵臓に作用して最終的にインスリンを出すことで血糖を下げる薬があります。SGLT2阻害薬は、以前の治療薬で問題となっていた膵臓のβ細胞への負担がありません。

#### Q. 服用の際、注意する点は何ですか？

A. 余分な糖を尿と一緒に排泄させるため、尿糖検査が陽性になります。医療機関で尿検査を受ける際は、SGLT2阻害薬を服用していることを医師に伝える必要があります。そして尿路の感染症や性器の感染症にも注意が必要です。具体的には、尿意を感じたらトイレを我慢しないようにすることや、喉の渇きを感じる前にこまめな水分摂取を心がけることが大切です。また腎機能が大きく低下している場合、薬の効果が見られないことがあります。定期的に腎臓の検査を受けるようにしましょう。

この薬に関する詳細は医師や薬剤師にお聞きください。服用の注意点を念頭において、薬を安全に使用しましょう。

執筆薬剤師 堀越 貴子

# わたらの健康とくすり

第240号



撮影／田中 晴美

## 今月の内容

- ・喘息についてお話しします！～その6～薬物療法
- ・保健機能食品について
- ・新しい作用機序の糖尿病薬はどんな薬ですか？

2016年1月発行

発行者 八王子薬剤センター 茂木 徹  
東京都八王子市館町 1097 電話 042-666-0931

協力 八王子薬剤師会

# 喘息についてお話しします！

～その6～

## 薬物療法

### ●薬物療法の種類

喘息の薬物治療には「**症状が出るのを防ぐ治療**」と「**症状や発作が起きたときに行う治療**」の2つがあります。前者には、慢性の気道の炎症をおさえる薬剤（長期管理薬：コントローラー）を使用します。後者には、狭くなった気道をすみやかに広げる短時間作用性吸入 $\beta_2$ 刺激薬（SABA）など発作を抑える薬（発作治療薬：リリーバー）を使います。

### ●治療薬の種類

治療薬には、内服薬や吸入薬、貼り薬、注射薬などがあり、目的や患者さんの好み・年齢などに応じて使い分けます。中でも気道に直接届き、少量で効果がある**吸入薬が主に用いられています**。吸入薬には粉を吸入する「ドライパウダー製剤」や霧状の薬剤を噴霧して吸入する「エアゾール製剤」、液体を霧状にして吸入する「電動ネブライザーを使用する製剤」などがあります。

### ●吸入ステロイド薬

喘息の重症度は、軽症間欠型・軽症持続型・中等症持続型・重症持続型の4段階に分けられ、治療の開始時に喘息症状と治療状況を総合して決定されます。**全ての段階で基本治療薬になるのが、抗炎症作用の強い吸入ステロイド薬です**。吸入ステロイド薬は、少なくとも数日～1週間以上吸入しないと効果が出ません。ステロイドは長期服用すると副作用を起こすことが知られていますが、吸入で用いる場合は副作用も少なく安全です。

### ●その他の長期管理薬

長期管理薬には、吸入ステロイド薬の他に、気管支拡張薬の長時間作用性吸入 $\beta_2$ 刺激薬（LABA）、その2つの薬剤が一緒に吸入できる配合剤、長時間作用性吸入抗コリン薬（LAMA）、ロイコトリエン受容体拮抗薬（LTRA）、テオフィリン徐放製剤、抗IgE抗体などがあります。

### ●減感作療法

室内塵のように完全に除去できないアレルゲンに対しては、**アレルゲン成分を少量ずつ繰り返し注射して、体を慣らす「減感作療法」**もあります。しかし行っている医療機関は限られています。

表. 治療ステップに応じた治療薬と対象となる症状

	治療ステップ1	治療ステップ2	治療ステップ3	治療ステップ4
長期管理薬	吸入ステロイド薬 (低用量) 上記が使用できない場合は以下のいずれかを併用 ●LTRA ●テオフィリン徐放製剤 ※症状が稀なら必要なし	吸入ステロイド薬 (低～中用量) 上記で不十分な場合に以下のいずれか1剤を併用 ●LABA(配合剤使用可) ●LTRA ●テオフィリン徐放製剤	吸入ステロイド薬 (中～高用量) 上記に下記のいずれか1剤、あるいは複数併用 ●LABA(配合剤使用可) ●LTRA ●テオフィリン徐放製剤 ●LAMA	吸入ステロイド薬 (高用量) 上記に下記の複数併用 ●LABA(配合剤使用可) ●LTRA ●テオフィリン徐放製剤 ●抗IgE抗体 ●経口ステロイド薬
追加治療	LTRA以外の抗アレルギー薬	LTRA以外の抗アレルギー薬	LTRA以外の抗アレルギー薬	LTRA以外の抗アレルギー薬
発作治療	吸入SABA (軽症間欠型相当) ・症状が週1回未満 ・症状は軽度で短い ・夜間症状は月に2回未満	吸入SABA (軽症持続型相当) ・症状が週1回以上、しかし毎日ではない ・月1回以上日常生活や睡眠が妨げられる ・夜間症状は月2回以上	吸入SABA (中等症持続型相当) ・症状が毎日ある ・吸入SABAがほぼ毎日必要 ・週1回以上日常生活や睡眠が妨げられる ・夜間症状が週1回以上	吸入SABA (重症持続型症状) ・治療下でもしばしば増悪 ・症状が毎日ある ・日常生活が制限される ・夜間症状がしばしば

『喘息予防・管理ガイドライン2015』から引用

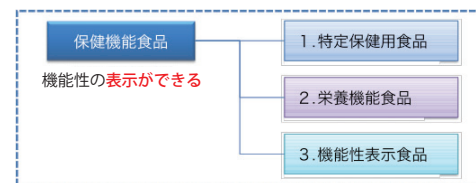
東京医科大学八王子医療センター 呼吸器内科 一和多 俊男

# ちょっとお耳を……

## 保健機能食品について ～2016年版～

### ●食品に「機能性が表示されている食品」とは

食品を購入する際に「おなかの調子を整えます」「脂肪の吸収をおだやかにします」などの表示を目にしたことはありませんか？このような**食品独自の効果を表示することを「機能性の表示」といいます**。これは消費者が食品の機能性・有効性を正しく理解し、選択できるように記されたものです。「**保健機能食品**」に認められており、以下の3種類に分類されます。



#### 1. 特定保健用食品（トクホ）

健康の増進維持に役立つことが科学的根拠に基づいて認められた食品です。消費者庁によって審査され、機能性の表示が許可されます。例えば「コレステロールの吸収を抑える」などの表示が認められています。

※特定保健用食品については231号でも紹介していますのでご参照ください。

#### 2. 栄養機能食品

1日に必要な栄養成分が不足しているとき、その補給・補完に役立つ食品です。対象となる栄養成分を一定の基準量を含む食品であれば、機能性を表示することができます。対象の栄養成分は、すでに科学的根拠が確認されているため、審査や許可は必要ありません。

#### 3. 機能性表示食品

昨年4月より施行された食品表示制度の対象食品です。事業者の責任において科学的根拠を調査し、消費者庁に届け出れば機能性の表示が可能です。「体のどの部位にどう機能するのか」が表示されますが、**病気の予防・治療効果の表現は認められません**。対象商品は、生鮮食品を含めた全ての食品です。ただし栄養機能食品やアルコールを含有する飲料、脂質・コレステロール・糖類・ナトリウムの過剰摂取につながるものは除かれます。

### ●保健機能食品はどのようにとればよいですか？

保健機能食品の摂取は栄養素の補完や健康維持の助けになり得ますが、**病気を治すものではありません**。保健機能食品を摂取するからといって、**服用中の薬を自己判断で辞めることは避けましょう**。また薬との飲み合わせがよくない食品もあります。ご不明な点は医師・薬剤師にご相談ください。

執筆薬剤師 阿部 佐和子